



## 命と防災の日～地震避難訓練～

4月14日は、「命と防災の日」です。昨日予定していた避難訓練ですが、天候不良のため、本日15日に延期しました。子供たちには次のような話をしました。ご家庭でも熊本地震の体験や防災・減災について子供さんと話をしてみるのもいいですね。

今からちょうど9年前の平成28年4月14日午後9時26分、ここ御船町でも震度5強の大きな地震が発生。その後も余震が続き、4月16日には、再び大きな地震が発生しました。その中で、多くの尊い命が奪われ、多くの人々が悲しみや困難と向き合いました。校長先生の家も大きく揺れ、本棚や食器棚などの家具が倒れ、家の中がぐちゃぐちゃになりました。今でも、その時の様子が写真のように頭の中に浮かんできます。

皆さんの家族や親せきの人の中でも、大きな被害をうけ、避難生活をされた人もいるかもしれません。その経験から、私たちは「命は何よりも大切である」ということや「地震について正しく知ることの大切さ」を学びました。

日本は、世界の中でも地震が多い国です。それは、日本には、火山があり、地球が生きているからです。そして、地震はいつ起きるか分かりません。台風や大雨のように天気予報があればいいのですが、今の科学では、予想することは難しいそうです。しかし、私たちが地震に備えた準備を怠らず、冷静に行動することで、自分自身を、そして周りの人々を守ることができます。

今日の訓練では、担任の先生から行動の仕方や避難の仕方の指示がありましたが、地震は学校で起こるとは限りません。家の中や登下校中、外で遊んでいるときに起こるかも知りません。その時大切なことは、自分の頭で考えて安全な行動をとることです。地震が起こったら、とにかく低い姿勢で頭を守ること（だんごむしのポーズ）、揺れが納まるまで動きません。その後安全を確認しながら行動します。大きな地震の後には、余震がきます。また、建物の中は、割れたガラスや家具などが倒れているかもしれません。だから、裸足で避難することはとても危険ですね。「慌てず走らず」避難することです。



## 学校ホームページ 随時更新中です

御船小学校では、学校の情報を積極的に発信しています。今年も茂永先生が「御船小ニュース」でいろいろな行事や出来事を写真入りで紹介してもらっています。また、学校からの連絡や便りもホームページに掲載することで保護者の皆様に確実に伝えしていきます。

そこで、この学校便りでは、私から伝えたいことやご家庭で話題にしてほしいこと等を中心に発行していきます。不定期の発行になりますが、ご一読いただくと嬉しいです。

